

# 平成24年新年賀詞交歓会に266名が参加 吉田会長「4月1日付けで新法人への移行を目指す」

社団法人日本内燃力発電設備協会(吉田藤夫会長)は1月13日17:30から、「平成24年新年賀詞交歓会」を東京都千代田区のホテルグランドパレス3F白樺の間で開催した。正会員と賛助会員、内発協委員会委員のほか、経済産業省、総務省消防庁、国土交通省、関係団体からの来賓など合わせて266名が参加した。吉田会長の開会あいさつ、三省庁の来賓あいさつの後、懇親に移った。

開会あいさつした吉田会長は「東日本大震災を受け地域の中核となる公共施設等では防災機能強化が求められており、予備電源としての自家発電設備の保安確保と信頼性向上はますます重要となっている。専門技術者育成等の事業を通じて貢献していきたい」と抱負を述べた。来賓あいさつとして、経済産業省原子力安全・保安院電力安全課長の村上博之氏、総務省消防庁予防課設備専門官の守谷謙一氏、国土交通省住宅局建築指導課企画専門官の今村敬氏の3氏がそれぞれの立場から祝辞を述べた。

あいさつの後、三菱重工エンジンシステム株式会社取締役の外池 正副会長による乾杯のご発声で懇親に移り、参加者一同で新年の門出を祝った。開宴



開会あいさつする吉田 藤夫会長

から2時間たった19:30頃、株式会社明電舎エネルギーシステム事業部長の大湊 茂夫副会長による手締めで中締めを行った。



外池 正氏

大湊 茂夫氏